

**2025年度 京都大学フィールド科学教育研究センター
公開実習「森里海連環学実習I」
実施要項**

1. 授業科目：森里海連環学実習I

実習の履修後に受講証を発行する。受講証にもとづく単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること。なお、本実習は2単位相当としている。実習は本学学部生と合同で行う。

指導教員：益田玲爾・中西麻美・甲斐嘉晃・鈴木啓太・石原正恵・松岡俊将
・鈴木華実（京大フィールド研）・中川 光（土木研究所）

2. 実習内容：

京都府の北部を流れる由良川は、京都大学芦生研究林を源流とし丹波地方を流れ若狭湾西部の丹後海に注ぐ。本実習では、芦生研究林内の溪流と森林の観察、由良川に沿って上流域（森林域）から和知、綾部、福知山を経由して河口域までの水質調査、魚類や水生昆虫、藻類などの水生生物調査、土地利用様式の調査を行う。森林域、里域、農地、都市などの陸域の環境が、由良川の水質、生物多様性、食物構造などにどのような影響を与えているかをじっくり観察し、森から海までの流域を複合したひとつの生態系として捉える視点を育成する。

1日目：JR園部駅 午前8時半集合

芦生研究林、由良川源流の観察・調査、舞鶴水産実験所で宿泊

2日目：由良川中流・下流・河口域調査、舞鶴水産実験所で宿泊

3日目：採集した生物と水質の分析、舞鶴水産実験所で宿泊

4日目：採集した生物の分析とデータ解析、舞鶴水産実験所で宿泊

5日目：データ解析、成果報告会、午後にJR西舞鶴駅で解散

（註）天候の影響等で実習の内容は変更することがある。

3. 実施施設：

京都大学フィールド科学教育研究センター 芦生研究林・舞鶴水産実験所

※自家用車等での来所は認めません。

4. 実施期間：2025年8月6日（水）～8月10日（日）

芦生研究林・舞鶴水産実験所への移動には公用車を利用する（複数台に分乗）

5. 対象学生：学部生全年次（文系・理系を問わない）

6. 定員：7名程度 （申込多数の場合は抽選とする）

7. 注意事項・参加条件

- ・ 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険に加入していること。ただし、当該保険は所属大学が正課と認める実習に適用されるため、本実習が正課と認められるか所属大学に確認すること。正課と認められない場合は自分自身で同等以上の保険に必ず加入し、実習中・移動中の万一の事故に備えること。
- ・ 6月6日（金）18時30分にZoomで実施されるガイダンスにできるだけ参加すること（詳細は実習参加希望者に追って連絡する）。
- ・ 実習前1週間は体調管理に努め、体調不良の場合は実習参加を見合わせること。
- ・ 実習の様子や宿泊棟の設備などは舞鶴水産実験所のホームページを参照すること。
- ・ 集合時刻や集合場所の変更のような緊急連絡は、舞鶴水産実験所のホームページ・X（旧Twitter）、メール送信により連絡するので、少なくとも1つはアクセスできる状態にしておくこと。

舞鶴水産実験所ホームページアドレス：<https://www.maizuru.marine.kais.kyoto-u.ac.jp/>

舞鶴水産実験所 X（旧 Twitter）：https://x.com/mai_fish_res_st

8. 必要提出書類：

- ・ 受講願
- ・ 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険証明書（領収書等のコピー可）

9. 申込締切：2025年6月27日（金）17：00 必着

10. 参加費用：8,000円程度

8/8-10の昼食3食と8/6-9の夕食4食の食費（500円/食）と4泊分の宿泊費（900円/泊）を舞鶴水産実験所で徴収する。上記以外の食費や交通費は各自で準備のこと。（JR運賃：京都⇒園部 普通 590円、西舞鶴⇒京都 特急利用 3,620円）。ただし、食事提供の回数は減る可能性がある。

11. 提出・問い合わせ先：

〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地

京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

電話：0773-62-5512 FAX：0773-62-5513

E-mail：maizurukyoten@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 参加希望者はメール（maizurukyoten@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）にて早めに受講の意思を連絡し，担当職員から必要書類を受け取ること．受け取った書類に必要事項を記載のうえ，担当職員へメールを送付することで受付を完了とする．書類は個人情報を含むため，必ずパスワードをかけること．